

2010-3

一次試験・筆記解答・解説

p.166~177

一次試験・リスニング解答・解説

p.178~192

二次試験・面接解答・解説

p.193~196

一次試験採点欄

解き終わったら、得点を下の自己採点欄に記入して、合格点と比較しましょう。

(※配点は1問1点)

筆 記		リスニング		合 計
35	+	30	=	65
点		点		点

合格点

37

65

点

公益財団法人 日本英語検定協会の発表による正式な合格点です。

解答一覧

一次試験・筆記

1	(1) 2	(6) 3	(11) 4
	(2) 1	(7) 2	(12) 4
	(3) 4	(8) 2	(13) 2
	(4) 3	(9) 3	(14) 1
	(5) 1	(10) 4	(15) 3

2	(16) 3	(18) 4	(20) 4
	(17) 2	(19) 2	

3	(21) 4	(23) 3	(25) 4
	(22) 4	(24) 1	

4 A	(26) 1	4 B	(28) 4
	(27) 4		(29) 2
			(30) 2

4 C	(31) 4	(33) 2	(35) 3
	(32) 2	(34) 4	

一次試験・リスニング

第1部	No. 1 3	No. 5 3	No. 9 2
	No. 2 1	No. 6 2	No.10 2
	No. 3 1	No. 7 1	
	No. 4 1	No. 8 3	

第2部	No.11 2	No.15 3	No.19 3
	No.12 1	No.16 1	No.20 4
	No.13 4	No.17 4	
	No.14 1	No.18 1	

第3部	No.21 1	No.25 4	No.29 4
	No.22 3	No.26 1	No.30 2
	No.23 2	No.27 1	
	No.24 2	No.28 3	

(1) 解答 2

訳

「私の姉[妹]は料理がとてもしょうずだ。絶品のカレーを作る」

解説

a great cook は「料理がとてもしょうずな人」。curry「カレー」と結びつく形容詞は excellent「すばらしい、見事な」、possible「可能な」、necessary「必要な」、silent「無言の」。

(2) 解答 1

訳

A「コートがまた床に置いてあるわよ、デイビッド。クローゼットに**掛け**なさい」

B「わかったよ、お母さん」

解説

空所直後の it は、最初の文にある Your coat を指していることに注意する。コートを closet「クローゼット、押し入れ」の中にどうするのかを考え、Hang「～を掛ける」を選ぶ。Call「～に電話をする」、Build「～を建てる」、Invite「～を招待する」。

(3) 解答 4

訳

「この英語の本は、とても難しい。私は辞書**を使わずに**、それを読むことはできない」

解説

This English book「この英語の本」はとても難しいので、without a dictionary「辞書なしでは」読めないという流れ。without は「～を使わずに、～なしでは」の意味。since「～以来」、until「～まで」、beside「～のそばに」。

(4) 解答 3

訳

A「この公園には**ゴミ**がたくさんあるね」

B「そのとおりね。いたるところに缶や瓶があるわ」

解説

There is [are] ～は「～がある」、a lot of ～は「たくさんの～」の意味。a lot of のあとにくる具体的な内容が B の言っている cans and bottles「缶や瓶」なので、それを表す garbage「ゴミ」が正解。air「空気」、future「未来」、life「生命」。

(5) 解答 1

訳

「私のネコはとても**賢い**。自分で台所のドアを開けることができる」

解説

1文目の主語 My cat を説明する形容詞として適切なのは clever

「賢い、頭がいい」。どのような点で clever なのかを2文目で説明している。all by oneself は「独力で、まったく1人で」。absent 「不在の」、ethnic 「民族（特有）の」、familiar 「よく知られた」。

(6) 解答 3

訳

A 「新しいフランス料理のレストランはどうだった？」

B 「すばらしかったわ。料理の見た目がきれいだったし、味も良かったわ」

解説

空所前の it は、文前半の主語 The food を指している。〈taste + 形容詞〉で、「～な味がする」。選択肢はすべて過去形で、原形はそれぞれ grow 「成長する」、hold 「～を抱く」、join 「参加する」。

(7) 解答 2

訳

「頭痛がするので、私は薬を買いに薬局へ行くとつもりだ」

解説

headache は「頭痛」。問題文の to buy ～は「～を買うために」という意味。medicine 「薬」を買うことができる場所は drugstore 「薬局」。barbershop 「理髪店」、gym 「体育館」、planet 「惑星」。

(8) 解答 2

訳

「アリスは昨日、学校ですべてのかぎをなくしてしまったので、自転車に乗ることができなかった。彼女は学校から家までずっと歩かなければならなかった」

解説

2文目は She had to walk 「彼女は歩かなければならなかった」/ all the () home from school 「学校から家まで～」という意味のまとまり。all the way で「(途中) ずっと」。line 「線」、road 「道路」、side 「側」。

(9) 解答 3

訳

「私の大好きな俳優が明日、私の学校にやって来る。彼と話すチャンスがあればいいなと思っている」

解説

actor は「俳優」。2文目は to talk with him が空所に入る名詞を修飾している。have a chance to ～で「～するチャンスがある」という表現。speech 「スピーチ」、piece 「1つ」、type 「型」。

(10) 解答 4

訳

A 「サラ、日本食をどう思う？」

B 「そうね、カナダの食べ物とはずいぶん違うけど、大好きよ」

解説

空所前の different は「違った」という形容詞。何と違うかを言う

場合は, be different from ~「～と違う, 異なる」とする。ここでは, Japanese food「日本食」と Canadian food「カナダの食べ物」を比較している。

(11) 解答 4

訳

「バスはとても込んでいたので, ジャックはそれに乗ることができなかった。彼は次のバスを待たなければならなかった」

解説

crowded は「混雑した」。ジャックは get on it「それ (=バス) に乗る」ことができなかった。wait for ~は「～を待つ」。文末の one は bus を指す。send「～を送る」, lend「～を貸す」。

(12) 解答 4

訳

「エミリーは音楽にとっても興味がある。放課後にピアノのレッスンを受けていて, 音楽の先生になりたいと思っている」

解説

空所の後ろの in に注目し, be interested in ~「～に興味がある」とする。2 文目ではその内容を具体的に説明している。expected「予期された」, surprised「驚いた」, worried「心配した」。

(13) 解答 2

訳

A「すみません。次の映画は何時に始まり **ますか**」

B「8 時 30 分です」

解説

疑問文の作り方がポイント。主語になる the next movie「次の映画」は 3 人称単数なので, does か is を用いるが, 文末に一般動詞 start「始まる」があるので, 2 の does が正解。

(14) 解答 1

訳

A「今日の宿題がわからないんだ」

B「先生と **話** した方がいいわよ」

解説

空所前の should は「～すべきである」という意味の助動詞で, そのあとには動詞の原形がくる。talk to ~は「～と話す」。

(15) 解答 3

訳

A「向こうのベンチに **座** っているあの男の人は誰なの？」

B「ぼくの父だよ」

解説

sit は「座る」という意味の動詞。sitting「座っている」という現在分詞(-ing 形)にすることで, 名詞を修飾する。ここでは, sitting on the bench over there「向こうのベンチに座っている」が, その直前の that man を修飾している。

(16) 解答 3

訳

男性「土曜日に一緒にテニスをしない？」

女性「いいわね。私も同じことを考えていたの」

解説

Why don't we ~? は「～しませんか」で、相手を誘う表現。最後の I was thinking the same thing. 「同じことを考えていた」から、女性は男性の提案に同意していることがわかる。正解 3 の sound(s) は、「(聞いて)～に思われる」という意味の動詞。

(17) 解答 2

訳

女性 1 「すみません。書店を探しているんですが。この近くにありますか」

女性 2 「ええ、ありますよ。次の角を右に曲がってください。銀行の向かいにあります」

解説

女性 1 の look for ~ は「～を探す」、one は a bookstore 「書店」のこと。女性 2 の返事は Yes, there is. なので、書店の場所の具体的な説明が続くのが自然。正解 2 の across from ~ は「～の向かいに」。4 の I'm ready to go. は「行く準備ができています」。

(18) 解答 4

訳

娘 「お父さん、これからおばあちゃんの家に行ってくるね」

父親「わかった、でもおばあちゃんは風邪をひいているよ」

娘 「知ってるわ。ちょっとあいさつをしたいだけなの」

解説

娘が Grandma's house 「おばあちゃんの家」に行こうとする場面。祖母が has a cold 「風邪をひいている」のはわかっているが、say hi 「あいさつする」だけという流れ。I just want to say hi. は、ちょっとあいさつをしたい時などに使う表現。

(19) 解答 2

訳

男の子「カレンは数学の授業で、いつも成績がいいよね」

女の子「ええ、彼女は数学が本当に得意よね」

解説

math class 「数学の授業」とあるので、ここでの does well は「勉強がよくできる、成績がいい」の意味。~, doesn't she? は「(彼女は)～ですよ」と相手に同意を求める表現。女の子の返事は Yes なので、「カレンは数学が得意だ」と言う 2 が正解。

(20) 解答 4

訳

夫「誕生日おめでとう、キャロル。この花をきみにあげるよ」

妻「なんてきれいなバラなの！ ありがとう」

夫「気に入ってくれてよかったよ」

解説

husband「夫」が wife「妻」の誕生日に花をあげている場面。
〈What+形容詞+名詞！〉は「なんて～（形容詞）な…（名詞）なんだろう！」。妻の発話から、夫がくれた roses「バラ」がとても気に入る、感謝していることがわかる。正解4の I'm glad ～は「～でうれしい」の意味。them は、自分があげた花を指している。

一次試験・筆記

3

問題編 p.127

(21) 解答 4

正しい語順

(How often does your baseball team practice)?

解説

「どのくらい練習しますか」という日本文は、練習の回数などを尋ねているので、How often「どれくらいの頻度で」で始める。このあとは、疑問文の語順〈does+主語 (your baseball team)+一般動詞 (practice)〉を続ける。practice が「練習する」という意味の動詞として使われていることに注意する。

(22) 解答 4

正しい語順

I (am thinking about going to Europe) next summer.

解説

「～しようと考えている」は「～することについて考えている」とほぼ同じ意味だと考えて、be thinking about ～ing という表現にする。現在進行形を使うことと、about のあとに動詞の -ing 形がくることに注意する。ここでは主語が I なので、be 動詞は am。about のあとに続くのは、「ヨーロッパに行くこと」を意味する going to Europe。

(23) 解答 3

正しい語順

(I don't have time to make dinner) tonight, so let's order a pizza.

解説

日本文と英文を見比べて、「夕食を作る時間がない」にあたる英語を並べかえることを理解する。英語では、「(私は) 時間がない」(I don't have time)+「夕食を作る (ための)」(to make dinner)

の語順で、to make dinner が直前の time を修飾する構造。

(24) 解答 1

正しい語順

(How long does it take to walk) from your house to the post office?

解説

所要時間を尋ねる表現 How long で始める。疑問文なので、この次は〈does+主語 (it)+動詞 (take)〉の語順になる。主語 it は時間を表す際に使われ、動詞 take は「(時間が) かかる」の意味で使われている。この次に、何に時間がかかるかを〈to+動詞の原形〉で表す。walk from A to B は「A から B まで歩く」。

(25) 解答 4

正しい語順

(The best place for buying vegetables is the supermarket) on Main Street.

解説

「野菜を買うのにいちばんいいところ」が主部になるが、英語では「いちばんいいところ」(The best place)+「野菜を買うのに」(for buying vegetables) の語順になることに注意する。for ~ing は「~するために」の意味で使われている。動詞は is で、このあとに補語となる the supermarket on Main Street が続く。

一次試験・筆記

4A

問題編 p.128~129

ポイント

児童書の作家 4 人がコミュニティーセンターで行うイベントに関する掲示。来場者はイベントで何ができるのか、何時にどのようなことが行われるのか、といったことに注意しよう。

全 訳

お気に入りの児童書の作家に会いに来てください!

誰でも参加できる無料のイベントです!

場所: ダフィー・コミュニティーセンター

時: 3月6日, 日曜日

4人の地元の作家が新刊本を紹介します。

児童書を書くことについて学びたいですか。

作家がみなさんのお手伝いをしてくれます。

お話のあとで、作家がみなさんのご質問にお答えします。

午前9時

ジョン・フランクリン

午前10時30分—午前11時30分

メアリー・ホビンズ

午前 11 時 30 分ー午後 12 時 30 分

午後の部

ミーガン・スノー

午後 2 時ー午後 3 時

ジェニファー・パーティントン

午後 3 時ー午後 4 時

午後 4 時 30 分から午後 5 時 30 分まで、軽食をご用意いたします。その時間に本が購入できて、作家が本にサインをします。

語句

come and meet ～「～に会いに来る」、favorite「お気に入りの」、children's books「児童書」、event「イベント」、local「地元の」、introduce「～を紹介する」、learn about「～について学ぶ」、session「(ある活動を行う) 時間、期間」、snack「軽食、菓子」、sign「～にサインする」

(26) 解答

1

質問の訳

「人々はイベントで何ができるか」

選択肢の訳

- 1 本を書くことについて質問する。
- 2 作家と一緒に夕食を食べる。
- 3 書くことに関する無料の本をもらおう。
- 4 子どもたちに本を読む。

解説

掲示の中央部分の After their talks, they will answer your questions. に注目。they は four local writers「4人の地元の作家」を指す。作家が質問に答えるということから、イベントの参加者は作家に質問できることがわかる。また、この前に ... about writing children's books とあるので、questions は「児童書を書くことについて」の質問だということになる。

(27) 解答

4

質問の訳

「作家はいつ本にサインをするか」

選択肢の訳

- 1 午前 11 時 30 分から午後 12 時 30 分まで。
- 2 午後 2 時から午後 3 時まで。
- 3 午後 3 時から午後 4 時まで。
- 4 午後 4 時 30 分から午後 5 時 30 分まで。

解説

掲示の最後に、You can buy books at that time, and the writers will sign them.「その時間に本が購入できて、作家が本にサインをします」とある。「その時間に」とは、その前の文にある from 4:30 p.m. to 5:30 p.m. のことを指すので、正解は 4。この時間については、There will be snacks「軽食の用意がある」という情報も掲載されている。

ポイント

サチコと、日本でホームステイをしているピーターとのEメールによるやりとり。サチコの家族が、まもなく帰国するピーターのために、パーティーを計画している。時の表現などを手がかりにして、どのEメールのどの文に正解が含まれているかを探し出そう。

全訳

送信者：サイトウ サチコ

受信者：ピーター・ハウエル

日付：2010年2月12日 12時07分

件名：パーティー

ピーターへ、

元気？ 今年は学校であなたと一緒に勉強できて楽しかったわ。あなたのおかげで、私の英語は上達したわ。あなたのホームステイはもうすぐ終わりで、3月の初めにロンドンへ帰ってしまうのね。私の家族も私も、あなたがいなくて寂しくなるわ！ あなたが行ってしまう前に、わが家であなたのためにパーティーをしたいと思っているの。2月20日の土曜日が、2月21日の日曜日は空いてる？ 3月6日も会えるわよ。あなたは何を食べたい？

すぐに返信してね、

サチコ

送信者：ピーター・ハウエル

受信者：サイトウ サチコ

日付：2010年2月12日 13時45分

件名：ありがとう

サチコへ、

きみの家にぼくを招待してくれて、どうもありがとう。20日の土曜日は予定があるけど、21日の日曜日は行けるよ。3月8日に出発するので、3月6日は忙しいんだ。ぼくはぜひお寿司が食べたいな。きみときみの家族に渡す写真があるんだ。元日に行った日光への旅行を覚えてる？ あの日、たくさん写真を撮ったんだ。ぼくたちの楽しい思い出をいつまでも忘れないよ。日本での1年はとても特別なものだったし、日本語もたくさん学んだよ。

いろいろとありがとう、

ピーター

送信者：サイトウ サチコ

受信者：ピーター・ハウエル

日付：2010年2月12日 15時23分

件名：日曜日

ピーターへ、

あなたが来られるのはとてもうれしいけど、そんなに早く帰国してしまうのは悲しいわね。父が3時に駅に迎えに行くわ。あなたがどれほどお寿司好きかをわかっているの、作り方を教えてあげるわね！ 母が他の日本料理も作ってくれるわよ。

それじゃ！

サチコ

語句

enjoy ~ing「～して楽しむ」, because of ~「～のために」, miss「～がいなくて寂しく思う」, free「時間のある, 暇な」, write back「返事を書く」, invite「～を招待する」, I'd love to ~「ぜひ～したい」, photo「写真」, remember「～を覚えている」, fun things「楽しいこと」, come over「訪れる」, pick ~ up「～を（車で）迎えに行く」, how to ~「～する方法」

(28) 解答 4

質問の訳

「ピーターは来月、何をするか」

選択肢の訳

- 1 日本へ旅行する。 2 日本語を勉強し始める。
3 サチコに英語を教える。 4 帰国する。

解説

Date「日付」欄から、Eメールのやりとりは February「2月」とわかるので、質問の next month「来月」は March「3月」ということになる。ピーターが3月に何をするかは、最初のEメール4文目後半に ..., and you're going back to London at the beginning of March. と書かれている。go back は「戻る」, at the beginning of ~は「～の初めに」。正解の4では、to London「ロンドンへ」の代わりに home「自国へ」が使われている。

(29) 解答 2

質問の訳

「ピーターはいつサチコの家へ行くか」

選択肢の訳

- 1 2月20日に。 2 2月21日に。
3 3月6日に。 4 3月8日に。

解説

パーティーをする候補日について、サチコは最初のEメールの後半で February 20th, February 21st, March 6th の3日を提案している。これに対して、ピーターは2番目のEメール2文目後半で ..., but I can come on Sunday the 21st. と答えている。こ

の文の前半で、I have plans on Saturday the 20th「20日の土曜日は予定がある」、その次の文で、... I'll be busy on March 6th「3月6日は忙しい」と言っているので、1と3は不正解。

(30) 解答 2

質問の訳

「サチコはパーティーで何をするか」

選択肢の訳

1 ピーターを自分の家族に紹介する。

2 ピーターに寿司の作り方を教える。

3 ピーターの絵を描く。

4 ピーターと一緒に日光への旅行を計画する。

解説

サチコがパーティーで何をするかは、最後のEメール3文目後半に ..., so I'll teach you how to make it! と書かれている。〈teach+(人)+how to ~〉は「(人)に~する方法[~のしかた]を教える」。it は、同じ文の前半にある sushi「寿司」を指している。正解の2では、teach の代わりに show が使われている。

一次試験・筆記

4C

問題編 p.132~133

ポイント

earmuffs「耳あて」を発明したアメリカ人のチェスター・グリーンウッドに関する英文。チェスターが耳あてを発明するまでの経緯、建設した工場での耳あての生産数、「チェスター・グリーンウッドの日」とはどのような日か、などを中心に読み取ろう。また、本文とは違う表現を使って作られている選択肢に注意しよう。

全訳

チェスター・グリーンウッド

冬の寒い日に、耳を温かくしておくために耳あてをつける人もいる。しかし、耳あてを発明した人物がアメリカ出身の15歳の少年だったということを知っている人は多くない。

チェスター・グリーンウッドは1858年、メイン州のファーマントンで生まれた。ファーマントンはとても雪が多く、チェスターの大きな耳は冬にいつも冷たかった。1873年のある冬の日、チェスターは新しいスケート靴を試してみようと外へ出た。冷たい風で、耳が痛かった。突然、チェスターはあることを思いつき、走って家へ戻った。彼は柔らかな針金を1本用意し、針金の両端に輪を作った。それから祖母に、その輪を布で覆うように頼んだ。彼はそれを頭につけ、外へ戻っていった。布のおかげで耳は温かかった。人々はそれを「耳あて」と呼び始めた。

他の子どもたちはチェスターの耳あてを見ると、自分たちも

耳あてを欲しがった。すぐに、耳あてはあちこちで人気になった。18歳の時、チェスターはファーマントンに工場を建設した。1883年、彼の工場では年30,000個の耳あてを生産していた。1937年までには、毎年400,000個の耳あてを生産するようになっていた。チェスターはその年に亡くなった。

現在ファーマントンは「世界の耳あての中心地」として知られ、チェスターはその地の英雄だ。ファーマントンでは、12月の第一土曜日はいつも「チェスター・グリーンウッドの日」だ。子どもから犬まで、みんな耳あてをつける。警察車両とスクールバスの長いパレードがあり、その日は多くの種類の耳あてを見ることができる。

語句

wear「～を身につける」、keep ~ warm「～を温かくしておく」、snowy「雪の多い」、outside「戸外へ」、a pair of ~「1組の～」、ice skates「アイススケート用の靴」、hurt<hurt「～に痛みを与える」の過去形、a piece of ~「1つの～」、everywhere「いたるところで」、built<build「～を建設する」の過去形、be known as ~「～として知られている」、hero「英雄、ヒーロー」、parade「パレード」、police car「警察車両」

(31) 解答 4

質問の訳

「冬のある日、チェスターはなぜ走って家に戻っていったのか」

選択肢の訳

- 1 スケート靴が壊れた。
- 2 病気の祖母に会いたかった。
- 3 友だちが彼のことを笑った。
- 4 良い考えを思いついた。

解説

第2段落5文目に、Suddenly, Chester had an idea, so he ran back home. とある。この文は〈～, so ...〉「～(原因・理由), だから…(結果)」という構造になっている。have an idea は「考えがある」という意味。正解の4では had の代わりに thought of ~「～を思いついた」が使われている。

(32) 解答 2

質問の訳

「チェスターが初めて耳あてを作ったのはいつか」

選択肢の訳

- 1 1858年に。
- 2 1873年に。
- 3 1883年に。
- 4 1937年に。

解説

第2段落3文目の One winter day in 1873 から、1873年の冬のある日に起きたことが書かれている。この段落の最後に The

pieces of cloth kept his ears warm. People started to call them “earmuffs.” とあり、これが最初の耳あてだとわかる。

(33) 解答 2

質問の訳

「祖母は、どのようにチェスターを手伝ったか」

選択肢の訳

1 チェスターの耳あて用の針金を見つけた。

2 チェスターの耳あてに布をつけた。

3 チェスターに耳あてのアイデアを教えた。

4 チェスターの最初の耳あてを買った。

解説

第2段落7文目に、Then he asked his grandmother to cover the circles with pieces of cloth. とある。〈ask+(人)+to ~〉は「(人)に~するように頼む」なので、to 以下がチェスターの祖母に依頼した内容になる。cover ~ with ... は「~を…で覆う」だが、この代わりに put ~ on ... 「~を…に置く、つける」を使っ
て同様の内容を表している2が正解。

(34) 解答 4

質問の訳

「工場は1937年にいくつの耳あてを作っていたか」

選択肢の訳

1 30,000 個。

2 40,000 個。

3 300,000 個。

4 400,000 個。

解説

チェスターが建設した工場については、第3段落で説明されている。その5文目に、By 1937, it was making 400,000 of them every year. とある。it は his factory 「彼の工場」、them は earmuffs を指している。every year は「毎年」。

(35) 解答 3

質問の訳

「ファーミントンでは、12月の第一土曜日に何があるか」

選択肢の訳

1 人々がファーミントン雪祭りを行う。

2 人々が冬の始まりを祝う。

3 人々がチェスターを思い出してパレードをする。

4 人々が市の誕生日を祝う。

解説

the first Saturday in December 「12月の第一土曜日」については、第4段落2文目以降で説明されている。“Chester Greenwood Day” と呼ばれている、誰もが耳あてをつける、警察車両とスクールバスの長いパレードがある、などの情報から判断する。